



# あ い 1月号

発行者 校長 長嶺 浩也

総括教育目標「地域に立脚し、志を高く持ち、他者と協働しながら未来を拓く田場っ子の育成」

## 学年度の締めくくり・・・3学期がスタート

平成29年の新しい年を迎えました。ご家庭におかれましては、家族揃ってお正月を迎えたことと存じます。皆様にとって本年が実り多き年となることを祈念しております。さて、学校は年度単位で教育課程が編成されているため、3月までが一区切りとなります。子ども達にとっては学年の締めくくりの期間であるとともに、次の学年へ向かう心構えをしっかりとつくる期間でもあります。12月までの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分、一年間の現在過去未来の姿を意識することが大切であると思います。そして、一つ一つ取り組んできた小さな積み重ねが大きな成長につながるものと確信しております。人間の成長に欠かせないものが目標を持ち努力することであると思います。子ども達一人一人が悔いのない一年の締めくくりができるよう期待しています。保護者の皆様今年もよろしくお願ひいたします。

### 三学期の始業式

二学期の終業式で、事故や事件に合わないよう安全に過ごすことが大切だという話をしました。冬休みの期間、事件や事故の報告もなく、全員、無事三学期を迎えることができ大変うれしく思います。朝、校門前で交通指導をしながら、登校の子供たちの様子を見ていると、みんな笑顔で登校していました。恐らく、頑張るぞという思いで登校してきたと思います。ある子に「お年玉はもらいましたか。」と聞くと、「たくさんもらいました。貯金しました。」との返事がありました。多くの子供たちがよいお正月を迎えたことでしょう。

さて、同日2時間目に始業式を迎えました。校長先生の話として次のことを話しました。

三学期は、1月が「行く」2月が「逃げる」3月が「去る」といわれるように一年間のうちで一番短い学期です。短い学期ではありますが、一学期「種を蒔き」二学期に「実り」三学期に「刈り取る」と言われており、一年間を振り返り、三学期をまとめの学期としてとらえ、どのようにして過ごしていくかを一人ひとりが考えて過ごしてください。特に、学習でわからないことはそのままにしないということです。その学年で学習することは、その学年のうちでしっかりとできるようにしておくことです。小中学校の時代の皆さんの「頭」は大変柔らかいです。その時に、いろいろなことを「覚えたり」「善悪を判断したり」「想像したり」することをたくさんしておくことです。しかし、人間は、3日坊主という言葉にもあるように「あきらめたり」「怠けたり」、する心があります。常に自分自身の心との戦いです。スポーツでも同じで、試合の最中に「まあいいや」という心が出てくると自分の力を十分発揮できません。三学期が一人一人にとって悔いのない学期となることを期待しています。

○ 気持ちのよいあいさつをしよう。

◎ 進んで仕事をしよう。

### 1月の生活目標

○ 郷土料理を知ろう。

◎ カゼを予防する食物を知ろう。

### 1月の給食目標

◎ 寒さに負けず元気で過ごそう。

### 1月の保健目標

◎ 心に残る本を見つけよう。

### 1月の図書館目標

## 全国体力テスト「子供の登校方法」

琉球新報1月4日の朝刊に、全国スポーツテストにおける登校方法についての記事が出ていました。その内容について紹介します。全国の小学5年生と中学2年生を対象に実施した全国体力テストに合わせて実施した運動習慣などの調査で、県内の小5男女の徒歩登校率が全国一低かったことが分かった。登校方法の調査は本年度が初めて。一方、両学年で登校方法として「路線バス、電車、自家用車」と回答した割合は全国で最も高く、保護者による自家用車での送迎が多い実態も明らかになった。

結果を受けて県教育庁は徒歩登校の推奨を進める方針を示しており「子どもたちの体力向上につなげたい」としている。

県教育庁担当者も「沖縄の車社会の影響が大きい」と話す。調査では体育の時間以外で運動しない子どもの割合は全国ワーストクラスだったが、1週間の総運動時間は小学校で全国平均よりも多いという結果が出た。県教育庁は「運動を全くしない子どもと、運動に積極的に取り組む子どもが二極化している」と分析した。

本校でも、子供の体力の低下については、二極化が進んでいると認識しています。徒歩登校のよさについては、昨年度の7月の学校だよりでも掲載しましたが、次のような効果があります。

★**子どもの体力の向上**・・・沖縄県は、これまで長寿県と言われていましたが、食生活の欧米化や車社会の影響が大きな原因ではないかとされています。祖父母の幼かった頃は、徒歩登校は当たり前でした。健康で長生きしている方が多いのではないかと思います。

★**自然との触れ合い**・・・興南高校野球部監督「我喜屋優」氏は、部員に毎朝地域に出てゴミ拾いをさせているそうです。日々の情景の細やかな変化に「気づく」ことが、スポーツを志す上で大切であると述べていました。徒歩登校をすると自然に四季の変化を肌で感じることも出来るようになります。感性を磨く場として大変有効です。

★**人との触れ合い**・・・登校時に、1年生の子どもが友達と楽しそうに登校する姿を毎日見かけます。また、また、兄弟で仲良く登校する子どももいます。近くに住んでいる子ども同士で登校する子どももいます。そんな姿を見ていると、大変嬉しくなります。子ども同士の関わり合いが知らず知らずのうちに形成されていると感じます。また、交通安全ボランティアの皆様との触れ合いもあります。

★**脳の覚醒**・・・朝起きて食事をとり、徒歩で学校に向かう子どもは、脳が活性化されていると思います。ですから、授業が始まってから、すぐに学習に取り組むことができると思います。朝の目ざめにも徒歩登校は大変有効です。

### 詩の紹介

「どきん」

谷川俊太郎

1月の音読（低学年）

## 1月の主な行事

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	日	冬季休業	16	月	市庁向上月間(～2月17日)
2	月	〃	17	火	
3	火	〃	18	水	読み聞かせボランティア
4	水	〃	19	木	計算検定「丸付けボランティア」
5	木	〃	20	金	音楽朝会
6	金	3学期始業式	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	
9	月	公休日(成人の日)	24	火	
10	火		25	水	
11	水	読み聞かせボランティア	26	木	6年修学旅行・丸付けボランティア
12	木	丸付けボランティア	27	金	〃
13	金	全校朝会(校長講話)	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	
			31	火	音読朝会